

# 更

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 **更新研修** (2022 年度)

## 演習のためのレポート

**注意** 本レポートはグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者に事前配布します。  
オンラインでの演習という性質上、回収はできません。事例の記載等十分ご留意しご作成ください。  
本レポートは裏面の「レポート記載要領」に沿って作成してください。  
「レポート記載要領」の内容を確認された方は、右記、**確認済**を○で囲んでください。  
確認済に○のないレポートは受け付けられません。



**確認済**

氏名 \_\_\_\_\_ 本協会所属支部（都道府県）名 \_\_\_\_\_ 支部 \_\_\_\_\_

構成員番号 \_\_\_\_\_ 所属機関 \_\_\_\_\_

研修日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 開催方法 Zoomミーティング \_\_\_\_\_

項目 1. 主な社会的活動についてご記入ください。

項目 2. 基幹研修Ⅲ修了以降または前回の更新研修修了以降、「(研修) 認定精神保健福祉士」としてあなたが意識して取り組んだ自身の役割や活動について記入してください。

項目 3. 地域や都道府県協会・支部等での活動を通して、あなたの感じる課題（実践を通して感じる地域課題や他機関・他職種団体等との連携、後進育成など）と課題解決に向けた自身の取り組み・工夫・考えなどについてまとめ、記入してください。

※この書式は、<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/kensyu/2022/koshin.html> からダウンロードできます。

## ◆レポート記載要領（よくお読みください）◆

- 更新研修は、「(研修) 認定精神保健福祉士」となられてからの5年間の振り返りと、更新研修修了後の5年間で大切に過ごしていただくことに焦点をあて、自らの専門性の点検と実践課題の明確化、後進育成の役割などを、より意識していただく内容です。
- レポートは、「スーパービジョンのためのレポート」「演習のためのレポート」の2種類あり、申込書とともにご提出いただき、確認後に受講決定となる仕組みです。
- レポートは、「スーパービジョン (SV)」、「演習」のグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者に事前配布します。どの方の（或いは全員の）レポートを検討するかは班内で協議いただきます。Zoom ミーティングでのSV・演習という性質上、回収はできません。ご作成の際は事例の記載などについて、十分ご留意ください（保管には参加者相互の守秘義務の徹底を呼びかけるとともに、提出いただいたレポートは本協会研修センターで厳重に保管します）。
- レポートの各発表時間は3～4分となっております。

## 演習のためのレポート

### 【作成上の留意点】

- 本レポートにおける各項目（記載欄）には、必ずご記入ください。
- 〈項目1. 主な社会的活動〉の社会的活動には、生活者としての地域諸活動も含まれますし、例えば「(都道府県協会・支部での立場、所属機関地域や居住地域等での地域活動における役割など。例：〇〇協会理事、〇〇審査会委員、〇〇地域ボランティア等)」なども含まれます。
- 役割等がなく、やむを得ない場合は「なし」とご記入ください。なお、「なし」とご記入してご提出できるのは、本レポートの項目1のみです。
- 〈項目2. 自身の役割や活動〉では、前回の研修からの5年間、精神保健福祉士の質の維持・向上等にあなたはどのように努めてこられたか、ご自身の活動の振り返り、意識の変化などグループ内で共有できるような記載をしてください。例えば「都道府県協会・支部での活動や研修への参加状況、地域活動への参画状況、各団体での役割、ソーシャルアクションの概要など」の取り組みも含まれます。なお、役割・活動等の羅列は認められません。
- 〈項目3. 地域や都道府県協会・支部等での活動を通し感じる課題〉では、ソーシャルな視点に基づいて、「実践を通して感じておられる地域課題」や「ご自身が所属している都道府県協会・支部等の日頃の活動や自身の役割に対する実践課題」と「その地域課題や実践課題の解決に向けた自身の取り組み・工夫・考え等」について記載してください。